

2018シーズンの展望 ～高田社長・高木監督に聞きました!～

本県を代表する県民クラブとして、
どのようなクラブにしていきたいですか。

プロ野球はチーム名に企業名が入っていますが、サッカーは「V・ファーレン長崎」のように地域の名前が入っている点が大きな違いだと思っています。プロサッカーのミッションは地域貢献。子どもの健全育成やシニア世代に元気を与えるなど、長崎県を活性化できるクラブにしたいと思っています。

今後の目標を教えてください。

今季は新規加入選手が12人。昨シーズンの結果から、何が足りないのかを監督や強化部が精査して補強したので、期待できる布陣になったと思っています。でも外から入ってくるだけでなく、これまで在籍していた選手の力も強化されるのだと信じています。新加入選手と一緒に、J1の中でも上位を目指してくれるものと信じているし、期待しています。目標を言うと相手チームが燃えるのであまり言いたくありませんが、やはりACL(AFCチャンピオンズリーグ)*出場でしょうか。

*アジアのクラブチームによる大会。J1リーグの上位チームと天皇杯優勝チームが出場できる。

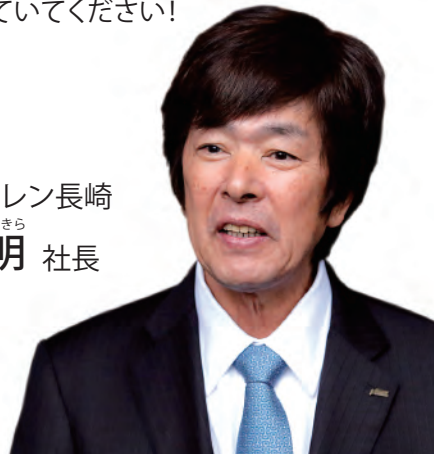
県民の皆さんにメッセージをお願いします。

「V・ファーレン長崎」は地域に密着したクラブであるため、地域の皆さんの協力がなくては、夢は達成できません。昨年J1に昇格できたのは県民の皆さんの後押しがあったからこそだと思っています。

県民の皆さんと一緒に上を目指していきたいので、昨年の何倍もの応援をよろしくお願いいたします。

昨シーズンは花火など試合以外のイベントも好評でしたが、今年も皆さんに楽しんでいただくためにスタッフが知恵を絞っています。楽しみにしててください!

V・ファーレン長崎
たか た あきら
高田 明 社長



新シーズンへの意気込み・目標を
聞かせてください。

チームのストロングポイントを挙げるなら「継続」。5年間やってきたことをレベルを上げながらやっていきたいし、私自身もチームと一緒に成長していきたい。J1残留を目標にするのではなく、その先の高い目標を掲げて頑張っていきたいと思っています。



V・ファーレン長崎
たか ぎ たく や
高木 琢也 監督

本県を代表する県民クラブとして、
長崎県へどんな影響を与えたいですか。

一つ目は、日本のサッカーでは最高位のJ1のチームとして、長崎県の子どもたちに夢を与える手助けをしたいということ。二つ目は、県民の皆さんがJ1で戦う自分たちの姿を見て、サッカーへの理解を深めていただき、「V・ファーレン長崎は長崎県に必要なだね」と言われるチームになりたいと思っています。

県民の皆さんにメッセージをお願いします。

僕自身も長崎県の出身。J1で戦うチームを指揮するという重責と喜びを感じています。皆さんに少しでも喜んでいただき、何かを感じてもらえるゲームをしたいと思っていますので、応援よろしくお願いします!

特集
special issue

V・ファーレン長崎を スタジアムで応援しよう!

昨年、悲願のJ1昇格を果たしたV・ファーレン長崎。

本県を代表するチームとしての誇りを胸に、
2月24日に開幕するJ1での新たな航海が始まります。



J1昇格までの道のり

2005年	V・ファーレン長崎発足 九州リーグ3位
2006年	九州リーグ・全国社会人選手権大会で優勝
2007年	九州リーグ3位
2008年	九州リーグ2位 全国地域リーグ決勝大会2位 → JFL昇格
2009年	JFL11位
2010年	JFL5位
2011年	JFL5位
2012年	JFL優勝 → J2昇格
2013年	J2 6位 (J1昇格プレーオフ敗退)
2014年	J2 14位
2015年	J2 6位 (J1昇格プレーオフ敗退)
2016年	J2 15位
2017年	J2 2位 → J1昇格

昨年11月11日、諫早市のトランスコスモススタジアム長崎で行われたV・ファーレン長崎のホーム最終戦。ホームゲームでのクラブ史上最多となる2万人を超える観客が応援する中で勝利をおさめ、J1への自動昇格となるリーグ2位が確定しました。

昨シーズンは高木琢也監督の指揮のもと、強固な組織力と全力で走り抜くハードワークで、最終節まで13試合連続負けなしというチーム新記録を樹立し、悲願のJ1昇格をつかみ取りました。

J1リーグは、川崎フロンターレや浦和レッズなど、日本代表が何人も在籍する強豪チームばかり。県外からも多くのサポーターが応援に来ることが予想されます。この機会に本県の魅力をアピールするとともに、サッカーで長崎を盛り上げるため、新たなステージで躍動するV・ファーレン長崎を県民みんなで応援しましょう。

J2参入5年目でつかんだJ1への切符